

# 教育研究所だより

守山市教育研究所発行

平成29年11月22日 No.206 所長 西川 典子  
守山市勝部三丁目9番1号 (守山市生涯学習・教育支援センター 愛称:エルセンター3・4階)  
E-mail kyoikukenyu@city.moriyama.lg.jp Tel 077-583-4217 Fax 077-583-4237  
H P <http://www2.city.moriyama.lg.jp/moriyama-kyoikukenyu/>

## 勝部のまちづくりと火まつり交流館

勝部自治会長(火まつり交流館長) 小 嶋 宣 秀

勝部の集落としての歴史は古く、その始まりは詳らかでは<sup>つまび</sup>ありませんが、物部大明神が<sup>まつ</sup>祀られた大化5年(649)頃にまでさかのぼることができます。幾多の先人が、その時々<sup>つまび</sup>の時代を乗り越え、歴史と文化を育んできました。

勝部には、800余年の伝統と歴史を守り育ててきた「火まつり」が今も営々と受け継がれ、毎年正月に盛大に開催されています。長きにわたりこの伝統を守り育てていくため、幾多の困難を乗り越え、運営組織・運営形態の改革が行われてきました。その思いはひとつであり、伝統の「火まつり」を未来に繋ごうとの思いから人々が一致団結して、今日に受け継がれています。

昭和45年の市制施行当時、330世帯1,400人の人々が新しいまちづくりに取り組んでから早や半世紀が経とうとしていますが、近年は人口が激増し2,100世帯5,000人を超える自治会となり、市内では一番大きな地縁団体となりました。

勝部自治会のまちづくり活動は先輩方のご努力により、地域の防災・環境・福祉等の取組は群を抜いて他の模範となっており、総務省消防庁主催の「防災まちづくり大賞」受賞や、水環境の整備に取り組む「いい川づくり活動」が全国でグランプリを獲得するなど、新たに自治会員となっていたいただいた多くの人たちとともに、「住みよいまち勝部」をめざしてまちづくり活動を展開しています。

滋賀県選択無形民俗文化財の「勝部の火まつり」をはじめ、由緒ある伝統行事を継承し、防災活動や環境活動など全国レベルとなった自治会まちづくり活動を推進する地域の皆さんの力、すなわち「勝部の地域力」が大きな支えとなり、「勝部自治会火まつり交流館」を建設することができました。

交流館は、自治会の先輩諸氏が多くの積立をしてくださった基金と国からの補助をいただいて建設しました。補助金は経済産業省の「地域・まちなか商業活性化支援事業」で、まさに守山市のまちなかを活性化するためのものです。火まつり交流館事業部の収益事業(飲食、物販など)を通して、勝部のみならず守山市の中心市街地の商業経済の活性化に貢献できるように努力をしたいと考えています。

これからの勝部自治会のまちづくり活動は、今日まで続けられてきた地域の防災・環境・福祉等の公益事業を継承発展させていくとともに、まちづくり会社(株)みらいもりやま21の協力を得ながら、独立採算性をもって収益事業(コミュニティビジネス)を展開していきます。このことは、自治会でおこなわれる地方創生事業の最先端の取組であると国から注目を得ています。

# 研修講座感想

## <授業改善研修講座>

- ・理科の授業では、問題→予想→実験→考察の流れがとても大切であることを知った。また、単元イメージシートを使用することで頭の中がスッキリまとまったように感じた。単元と単元のつながりをイメージすることができた。
- ・子どものやる気(やりたいと思う気持ち)を引き出すためにさまざまな工夫があることを改めて学んだ。自分の授業を振り返ってみると説明ばかりの授業で、子どもの心に残る授業ではなかったと反省をした。体験しながら、学ぶということは、主体的に学ぶということにつながるということを改めて考えさせられた。

## <教育相談研修講座>

- ・問題行動の背景には「環境」が大きく影響していることがわかった。もちろんその子の特性(発達障害)もあるが、落ちついて学習できる環境と配慮が必要である。その子の将来のことを考えると心を鬼にしなければならぬこともあるが、その子にとって必要な支援かどうか、その子に応じた支援を選択していかなければならない。
- ・自閉傾向のある子どもの視線がかなり狭い範囲に限られていることがわかり驚いた。支援として教室の前面掲示を後ろに貼るなど、刺激を少なくしているが、他の掲示物が気になっている場合もあるかもしれないので、子どもをしっかり理解したうえでの教師の支援がとても大切だと感じた。

## <ICT 研修講座>

- ・実際に授業で iPad を使ってみたくなった。まずは、いろいろな場面で工夫できそうなところを見だし、そして少しずつ校内の他の先生にお伝えできればいいなと思った。
- ・アプリなどの活用がすごく分かりやすく、私自身も使ってみようと思いました。今後の授業に活用していきたい、生徒の興味をひくように授業をしていきたいです。

## <幼児教育研修講座>

- ・学校は「遊びを知識に変えるところ」という言葉がとても心に響きました。今年度、5歳児の加配をしているので、園でたくさん遊びの貯金をして、学校につなげたいと思いました。小学校の学習の話が具体的に知ることができて、勉強になりました。

## <小学校外国語活動実践講座>

- ・Activity がたくさんあって楽しく研修ができた。いろいろな教員の方とコミュニケーションができ、子どもたちの気持ちになって学べるところが良かった。子どもたちはどんな気持ちで英語に向き合い、わからないなかでも学ぼうとするのか、クラスルームイングリッシュの効果はどれほどあるのか、この研修で学ばせていただいた。
- ・単語で伝えることの大切さを感じました。そして「相手に伝えたい!」という思いが土台にあることでコミュニケーションをとることが楽しくなると思う。

## <郷土守山に学ぶ研修講座>

- ・今回の北川家土蔵の見学は実にすばらしく、その見学の機会を与えていただいたことに改めて喜びを覚え、感謝いたします。この歳になっても史跡や文化財探訪のすばらしさ(興味)は止まらず、また、次の機会を得させていただければ、ぜひ出席させてください。
- ・地域の歴史文化を後世に引き継いでいくには、学校教育とともに“地域の中”で誇れる町づくりとして学習の場を設けることが大事である。引き続き、こうした場を設けてほしい。
- ・「金森長近」という人物が守山の金森と関係していること、高山市と守山市の交流など、初めて知ることが多く感心した。守山の歴史等深く学べた気がする。

